| 学習・教育目標 | | 評価方法 | 備考 |
|---|---|---|---|
| （B）国際的に通じる，筋道をたてて表現できる能力の養成 | 論点が理解でき状況に応じて分かりやすいプレゼンテーションや文章表現ができる.<br>（B1） | 「電算機基礎演習Ⅰ」,「電算機基礎演習Ⅱ」で. 効果的なプレゼンテーションを行なうための情報リテラシーを有することを，課題，中間テスト，終了テストにより評価する. 電算機基礎演習Ⅰでは，3 つの課題により評価する. 電算機基礎演習Ⅱでは課題（40%），中間テスト（30%），終了テスト（30%）により評価する.<br><br>「化学生命工学基礎実験」,「物質化学実験」,「生物工学実験」で，実験結果を論理的に解析し，筋道を立てて説明できることを，プレゼンテーション，レポートにより評価する.<br>化学生命工学基礎実験では姿勢・態度（15%），終了テスト（25%），レポート（60%），物質化学実験では姿勢・態度（20%），終了テスト（30%），レポート（50%），生物工学実験では姿勢・態度（貢献度）（40%），プレゼンテーション（20%），レポート（40%）により評価する. それぞれ，評価全体の 37.5%, 37.5％，12.5%に相当する.<br><br>「化学実験」で，実験結果を論理的に解析し，筋道を立てて説明できることを，レポートにより評価する. 評価全体の 25%を占める. 終了テスト（30%），レポートおよび姿勢・態度（60%），班ごとの実験結果の関連性を検討するレポート検討（10%）により評価する. 評価全体の 25%に相当する.<br><br>「コンピュータ応用Ⅰ」で，コンピュータを用いた他人に理解しやすい統計的データの処理方法について理解していることを，小テスト・レポート（25%），中間・終了テスト（50%），プレゼン評価（25%）により評価する. 評価全体の 12.5%に相当する.<br><br>「コンピュータ応用Ⅱ」で，データの信頼性を統計学的な検定により表記する方法や，さらに信頼性を得るための実験の計画法について理解していることを，課題（30%），中間テスト（30%），終了テスト（40%）により評価する. 評価全体の 12.5%に相当する.<br><br>「フレッシュマンゼミナール」で，効果的なプレゼンテーションの方法について理解し実践できることを，グループ発表の討論・準備，およびプレゼンテーションの結果を評価シートに基づき評価する. 評価全体の 12.5%を占める.<br><br>「卒業研究」で，研究室における複数回の中間発表，最終的な口頭発表，ポスターセッションを評価シートに基づき評価する. 卒業研究全体の評価の 25%を占める.<br><br>「日本語の技法」で，構成の整った説得力のある文章の作成方法，文章表現能力を有していることを，e-learning（40%），小テスト（20%），終了テスト（40%）により評価する. | 左記の授業科目を必ず履修し，単位を取得していること.<br><br>左記の科目は学科目標 B1 のコアとなる科目である.<br><br>教育目標を達成するために必要な 40 ポイント中 43 ポイントをこれらの科目で獲得し教育目標を達成する. |

| 学習・教育目標 | | 評価方法 | 備考 |
|---|---|---|---|
| （B） 国際的に通じる，筋道をたてて表現できる能力の養成 | 論点が理解でき状況に応じて分かりやすいプレゼンテーションや文章表現ができる.<br>（B1） | 「有機・高分子化学演習」,「無機・物理化学演習」で，典型的な化学の分野の問題の解法を，良く準備された資料をつくり分かり易く説明できることを，プレゼンテーションの結果をもとに評価する.<br>有機・高分子化学演習では演習課題（40%），終了テスト（60%），無機・物理化学実験では終了テスト（55%），小テスト・毎回の学習（25%），プレゼンテーション・質問（20%）により評価する．評価の約 40%となる.<br><br>「インターンシップ研修」で，職業人として活躍するための基本的な能力を有していることを，会社担当者の評価，インターンシップ研修レポート，インターンシップ研修報告会におけるプレゼンテーションにより，総合的に評価する. | 左記の授業科目を必ず履修し，単位を取得していること.<br><br>左記の科目は学科目標 B1 のコアとなる科目である.<br><br>教育目標を達成するために必要な 40 ポイント中 43 ポイントをこれらの科目で獲得し教育目標を達成する. |
| | 国際的に通用する最低限のコミュニケーションができる<br>（B2） | 基礎教育外国語科目の英語科目により，英語による一般的なコミュニケーション能力を持つことを，小テスト，英語による口頭発表，終了テストなどにより総合的に評価する<br><br>「科学英語Ⅰ」,「科学英語Ⅱ」により，工業英語検定3級と同等以上の能力を有することを，小テスト，終了テストにより評価する．小テスト（50%），まとめテスト（20%），工業英検 3 級受験（30%）により評価する.<br><br>「化学概論Ⅰ」,「同Ⅱ」,「基礎無機化学」,「基礎物理化学」,「基礎生化学」,「基礎分析化学」で，基本的な元素名，物質名，化学用語，基礎的な概念用語を，英語で理解し，英語で記述できることを，小テスト，レポート，終了テストにより，総合的に評価する．それぞれ評価全体の 25%に相当する. | 語学英語科目は，少なくとも 6 科目 6 単位以上を取得すること.<br><br>専門科目の英語力に関する左記の科目は必ず履修し，単位を取得していること.<br><br>左記の専門科目は必修科目でありこれらの科目の単位取得により，教育目標を達成するために必要な 30 ポイント中 28 ポイントを獲得する. |
| | | 「無機化学」,「物理化学」,「分子細胞生物学」で，やや専門的な物質名，化学用語，概念用語を，英語で理解し，英語で記述できることを，小テスト，レポート，終了テストにより，総合的に評価する. | 左記の専門選択科目の単位の取得により，2 ポイント以上を獲得する．2 ポイント以上獲得すれば，教育目標 B2 の必修科目とあわせて達成基準である 30 ポイント以上獲得することができる. |